

1 背景

- 水循環再生地域行動計画に定めた取組を着実に推進するため、各地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を点検・把握するために「取組点検指標」を平成20年度に取りまとめた。
- 「取組点検指標」は「地域共通の取組」（下水道整備や雨水貯留・浸透施設の設置補助などの地域で広く実施されている基盤的な取組）と「流域別の取組」（地域住民による水源地と上下流交流、湿地の保全など地域に根ざした取組）が設定されている。
- 「地域共通の取組」は水循環の4つの機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」、「ふれあう水辺」の項目で、「流域別の取組」は水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」、「川、里海づくり」の項目で設定されており、平成21年度から実績値（前年度分）の集計を始めている。

2 平成22年度取組実績

- 尾張地域水循環再生地域協議会構成員52団体が実施した75の取組（地域共通の取組20 流域別の取組55）について実績を把握した。（取組結果は別表参照）
- 地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取り組みである、生活排水処理施設の整備（下水道整備、合併処理浄化槽の普及）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が平成21年度よりも上昇した。また、下水道施設の高度処理の導入も着実に進んでいる。
- 流域別の取組について、なごや西の森づくり、水生生物調査等の各種イベントや藤前干潟クリーン大作戦等の清掃活動も継続的に実施されている。また、特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組、自然生態園整備事業等の事業も継続的に実施されている。
- 以上のことから、イベント等の参加数は増減があるものの、下水道整備等のハード整備は着実に実施されており、水循環に関する取組は着実に推進されている。

項目		取組数	代表的な取組			
地域共通の取組	きれいな水	9	生活排水処理施設の整備			
	豊かな水	4	下水道の整備率	H20 70.6%	→	H22 73.5%
	多様な生態系	5	合併処理浄化槽の基数割合	H20 24.0%	→	H22 27.9%
	ふれあう水辺	2	汚水処理人口普及率	H20 83.5%	→	H22 85.7%
流域別の取組	日光川等流域	11	高度処理施設の導入			
	木曾川・庄内川等流域	30	H20 12.5% → H22 18.5%			
	天白川・山崎川等流域	10	なごや西の森づくり			
	伊勢湾沿岸域(知多半島)	4	市民の参加人数	H20 880人	H21 1,300人	H22 2,450人
			植えた本数	H20 3,260本	H21 3,710人	H22 11,400本
			自然生態園整備事業			
			来園者数	H20 7,923人	H21 9,601人	H22 10,044人

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	指標とする項目			指標とする項目を 報告する機関	指標の説明
		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績		
きれいな水	下水道の整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。	下水道普及率(%)			下水道課	下水道普及率=下水道処理人口/行政人口×100
	70.6%	72.3%	73.5%			
	農業集落排水施設の整備 ・農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。	農業集落排水処理人口普及率(%)				
	1.15%	1.2%	1.2%			
	合併処理浄化槽の設置 ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)			県水地盤環境課	・合併処理浄化槽処理人口普及率=合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽の基数割合=合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		11.0%	10.8%	10.8%		
	コミュニティプラントの整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	合併処理浄化槽の基数割合(%)			資源循環推進課	コミュニティプラント処理人口普及率=コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
		24%	25.3%	27.9%		
	汚水処理全体 ・下水道や農業集落排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)			下水道課	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口×100
		0.2%	0.2%	0.2%		
	高度処理施設の導入 ・公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理化を推進する。	汚水処理人口普及率(%)			下水道課	高度処理実施率=高度処理人口/行政人口×100
		83.5%	84.5%	85.7%		
	河川等公共用水域水質監視 ・公共用水域の水質常時監視を実施する。	高度処理人口普及率(%)			県水地盤環境課	・河川BOD(尾張地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(伊勢湾(狭義)のみ)の環境基準達成率
		12.5%	15.5%	18.5%		
水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)			県水地盤環境課	・河川BOD(尾張地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(伊勢湾(狭義)のみ)の環境基準達成率	
	100%	93.3%	93.3%			
河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	水生生物調査の実施箇所数			各構成員	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数	
	26箇所	31箇所	20箇所			
河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	水生生物調査ののべ参加人数(人)			各構成員	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数	
	1,298人	1,416人	948人			
河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)			各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数	
	1,472回	1,125回	1,038回			
河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	実施箇所数			各構成員	構成員が実施した面積	
	119箇所	127箇所	112箇所			
河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	のべ参加人数(人)			各構成員	構成員が実施した透水性舗装の面積	
	48,564人	54,087人	34,710人			
豊かな水	森林の整備 ・水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	間伐面積(ha)			県森林保全課	間伐を実施した面積
	38.00ha	40.38ha	40.40ha			
雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む) ・かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	雨水貯留施設の設置数			各構成員	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・樹溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数	
	35箇所	31箇所	168箇所			
透水性舗装の推進 ・歩道等における透水性舗装を推進する。	雨水貯留浸透施設設置補助件数			各構成員	構成員が施工した透水性舗装の面積	
	179件	354件	263件			
ため池の保全 ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備面積(m ²)			各構成員	構成員が整備したため池の箇所数	
	64,041m ²	56,500m ²	74,955m ²			
多様な生態系	多自然川づくり ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備箇所数			各構成員	構成員が整備したため池の箇所数
		17箇所	9箇所	9箇所		
ため池の保全(再掲) ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数			各構成員	構成員が整備したため池の箇所数	
	17箇所	9箇所	9箇所			
ビオトープ整備 ・ビオトープの整備を推進する。	整備箇所数			各構成員	構成員が整備したため池の箇所数	
	4箇所	5箇所	4箇所			
水生生物調査(再掲) ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	実施箇所数			-	-	
	26箇所	31箇所	20箇所			
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	実施箇所数			-	-	
	1,298人	1,416人	948人			
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)			-	-	
	1,472回	1,121回	1,006回			
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	実施箇所数			-	-	
	119箇所	123箇所	108箇所			
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	のべ参加人数(人)			-	-	
	48,564人	52,287人	32,751人			
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲) ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	実施回数(回)			-	-
		1,472回	1,121回	1,006回		
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	実施箇所数			-	-	
	119箇所	123箇所	108箇所			
河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	のべ参加人数(人)			-	-	
	48,564人	52,287人	32,751人			

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実施機関名(構成員名)	指標とする項目		
		取組内容			平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
<p>日光川等流域</p> <p>【課題】</p> <p>○全般に単調な護岸であることから、自然に配慮した多自然川づくりが必要である。</p> <p>○農地の保全と市街地における雨水浸透施設など地下水かん養の充実が必要である。</p> <p>○河口域の大規模なヨシ原は生物の生育・生息環境を形作っていることから、これらの保全が必要である。</p> <p>【目標】</p> <p>☆田園や街など、周辺環境と調和した水辺景観の創造・維持</p> <p>○自然や親水性に配慮した川や水路の整備と清掃など水辺環境の改善による、人に親しみやすい水辺や景観を維持</p> <p>○下流域に群生しているヨシ原など、この流域に貴重な水辺の自然の保全</p>	森づくり	—	—	—	—	—	
	郷づくり	—	—	—	—	—	
	まちづくり	合流式下水道の改善	・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市、一宮市、津島市	吐き口対策スクリーン設置 2箇所 雨水貯留施設等の設置 5人	吐き口対策スクリーン設置 5箇所 雨水貯留施設設置(平成25年度完了) 津島市	平成22年度は実績なし(名古屋市) 平成22年度は実績なし(一宮市) 雨水貯留施設設置(平成25年度完了)(津島市)
		浄化槽の適正な維持管理	・浄化槽の適正な維持管理について、啓発を行う。	あま市	—	—	—
		合併処理浄化槽設置整備事業	・浄化槽を設置することにより生活環境の悪化を防止し、水質浄化を図る。 ・町内を「対象地域」と「特例地」に分けて合併処理浄化槽の設置の推進を行う。	蟹江町	申込件数		
					対象地域 39件 特例地28件	対象地域 53件 特例地21件	対象地域 53件 特例地21件
		なごや西の森づくり	・「なごや西の森づくり計画書」に基づき、市民(戸田川みどりの夢くらぶ)、企業、行政の協働で「なごや西の森づくり」を推進する。 ・苗木の植樹をはじめ森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。	名古屋市	市民の参加者数		
					880人	1,300人	2,450人
					植えた本数		
					3,260本	3,710本	11,400本
		水質環境目標値市民モニタリング	・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数		
					205人	186人	182人
	川・里海づくり	水辺スポットの整備	・国の「水辺プラザ整備事業」の条件を満たさない市町村の水辺の交流拠点整備を支援。	蟹江町	親水施設面積(ha)		
					1ha	1ha	1ha
					整備箇所数		
				1箇所	1箇所	1箇所	
	三宅川の清掃活動	・河川の清掃を行う。	稲沢市	実施回数(回)			
				1回	1回	1	
				実施箇所数			
				1箇所	1箇所	1	
				のべ参加人数(人)			
				119人	156人	148人	
	大江川・蟹江川の清掃活動	・河川の清掃を行う。	あま市	実施回数(回)			
				1回	1回	1回	
				実施箇所数			
				1箇所	1箇所	1箇所	
				のべ参加人数(人)			
				525人	525人	573人	
	蟹江川の清掃活動等	・河川の清掃を行う。	蟹江町	実施回数(回)			
				2回	1回	2回	
				実施箇所数			
				2箇所	1箇所	2箇所	
				のべ参加人数(人)			
				385人	228人	321人	
	水生生物調査	・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関:県水地盤環境課)	実施箇所数			
				2箇所	3箇所	—	
				のべ参加人数(人)			
				74人	218人	—	
	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数			
				205人	186人	182人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
				整備面積(ha)		
木曾川・庄内川等流域 【課題】 ○矢田川上流では環境基準が達成されていないこと、庄内川下流では生物の生息環境や水に親しむ観点からさらなる改善が望まれる。 ○庄内川は河畔の植生など貴重な生物の生息・生育の場として重要であるので、護岸の整備などにより制約を受けた生息生育環境の改善をはかる必要がある。 ○新川流域では非かんがい期に悪化する水質の改善と雨水などによる地下水かん養が必要である。 ○農業用排水路では可能な限りの動植物の生息・生育環境への配慮が求められる。	森づくり	水源涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。 水源地域との上下流交流 ・名古屋の水源地域である岐阜県下呂市(岩屋ダム)と長野県木祖村(味噌川ダム)と交流することにより、水源涵養意識の高揚を図る。	愛知用水土地改良区	0.3ha	0.3ha	0.3ha
	郷づくり	総合治水対策の推進 ・宅地化が進み、雨水不浸透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の埋立てを防止するための助成を行う。 自然生態園整備事業 ・都市化の進展とともに農地の転用が進み、身近な自然が次々と失われていく状況の中、市内で一番重要な自然の文化財である北島町津島神社の鎮守の森周辺を、自然を生かした「ビオトープ公園」として整備し、保全・活用する。 湿地の保全 ・除伐・下草刈りなど湿地・湿原の保全整備を行う。	扶桑町 岩倉市	助成件数		
				25件	13件	244件
				来園者数(人)		
				7,923人	9,601人	10,044人
				実施回数(回)		
				1回	2回	2回
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市長官舎、一宮市	名古屋市長官舎 ・きょう雑物除去装置 31ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小 4ヶ所(完了3、整備1) ・雨水貯留施設 3ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設 2ヶ所(整備中)	名古屋市長官舎 ・きょう雑物除去装置 28ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小 3ヶ所(完了1、整備2) ・雨水貯留施設 3ヶ所(完了1、整備2) ・簡易処理高度化施設 2ヶ所(整備中)	名古屋市長官舎 ・きょう雑物除去装置 20ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小 4ヶ所(完了1、整備3) ・雨水貯留施設 2ヶ所(完了1、整備1) ・簡易処理高度化施設 2ヶ所(整備中)
		特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組 ・新川流域において、流域水害対策計画に基づき総合治水対策を推進。 ・河道改修や、流域対策として雨水貯留浸透施設の整備、ため池の保全等。	名古屋市長官舎、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町 (※報告機関: 泉河川課)	貯留施設: 13,210㎡ 透水性舗装: 157,910㎡ 浸透トレンチ: 2,613㎡ 浸透柵: 495個	貯留施設: 10,990㎡ 透水性舗装: 65,757㎡ 浸透トレンチ: 1,600㎡ 浸透柵: 282個	貯留施設: 4,206㎡ 透水性舗装: 75,285㎡ 浸透トレンチ: 2,716㎡ 浸透柵: 350個
		水質環境目標値市民モニタリング ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のにおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市長官舎に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市長官舎が公表。	名古屋市長官舎	モニター登録人数	モニター登録人数	モニター登録人数
				205人	186人	182人
		湧き水モニター ・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。	名古屋市長官舎	モニター登録人数		
				70人	40人	40人
	川・里海づくり	堀川の総合整備 ・「うらおいと活気の都市軸・堀川」を再びよみがえらせるという目標を達成するため、堀川でマイタウン・マイリバー堀川整備事業を推進する。 ・また、健全な水環境系の構築が重要であることに鑑み、生物生息環境の確保と人と自然の豊かな触れ合い活動の場の確保を目的として、水質及び水量の改善を図る。	名古屋市長官舎	護岸整備延長(m)		
				7,634m	7,905m	8,530m
	遊歩道・サイクリングロード整備事業 ・堤防及び高水敷等において、遊歩道・サイクリングロードを整備する。	一宮市、江南市	一宮市			
			-	親水施設面積 1.45km ² 整備箇所数 2箇所	-	
			江南市			
			親水施設面積 0.96ha 整備箇所数 1箇所	親水施設面積 3.28ha 整備箇所数 1箇所	-	
	矢田川散歩歩道整備事業 ・身近な水辺の親水性の向上づくりを図るため、矢田川河川敷の散歩路整備を推進する。	尾張旭市	整備面積(ha)			
			0.044ha	0.0175ha	0.0092ha	
	親水護岸の整備 ・地域の住民が水辺に近づいたり、子供達が水辺で遊んだり出来るようにするための親水性の護岸の設置を図る。 ・水辺の楽校、総合学習の会場、水生生物調査の場としての整備。	庄内川河川事務所	整備箇所数			
			2箇所	3箇所	-	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	指標とする項目			
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
木曾川・庄内川等流域	川・里海づくり	港湾環境整備事業(中川運河緑地) ・市街地の貴重な水辺空間を活用して、人々が水辺に近づき、憩うことのできる空間として、港と都心を結ぶ快適な水辺環境軸を形成するため、中川運河において緑地を整備する。	名古屋港管理組合	約3.2ha (H20までの累積整備面積)	約3.2ha (H21までの累積整備面積)	約3.2ha (H22までの累積整備面積)
		庄内川中流域水環境改善の取組実施 ・庄内川は、全国の他の川と比較するときれいとは言えず、水質改善の取り組みが必要なことから、支川八田川等からの汚水の流入対策として直接浄化を実施した。その結果をふまえながら水環境改善のための課題・対策の整理の検討を行う。	庄内川河川事務所	4.6mg/l	4.5mg/l (75%値)	5.4mg/l (75%値)
		直接浄化施設の運転・管理 ・中川口地区においては、市街地の貴重な水辺空間として、水際遊歩道等の緑地が整備されているが、その前面水域の環境向上を図り快適な水辺空間を創出するため、水質浄化施設を整備し、曝気を実施。	名古屋港管理組合	約140万m ³	約140万m ³	約140万m ³
		庄内川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	矢田・庄内川をきれいにする会	2回	4回	2回
		大山川クリーンアップ行事 ・河川の清掃を行う。	大山川を愛する市民の会	-	2,100人	2,016人
		大江川クリーン作戦 ・河川の清掃を行う。	一宮市	1回	1回	1回
		五条川等の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	犬山市	1回	2回	1回
		クリーンアップ五条川 ・河川の清掃を行う。	岩倉市	1回	1回	1回
		新川等の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	清須市	2回	2回	2回
		川と海のクリーン大作戦 ・住民と行政が一体となり清掃活動を実施する。 ・「ゴミを捨てない、捨てさせない」という意識の向上を図る。	一宮市、春日井市、江南市、犬山市、庄内川河川事務所 (※報告機関:市町村)	9回	9回	4回
		藤前干潟クリーン大作戦 ・庄内川下流から藤前干潟までの清掃を行う。	庄内川河川事務所	-	2箇所	2箇所
		みなと川まちづくり 庄内川・新川クリーン大作戦 ・庄内川・新川沿川(港区)の清掃活動を行う。	庄内川河川事務所	-	2箇所	2箇所
		水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、庄内川河川事務所、泉水地盤環境課 (※報告機関:泉水地盤環境課)	21箇所	26箇所	17箇所
		モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト ・地元の河川である矢田川に目を向け、流域全体をネットワークで結び、情報・ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報し、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始。 ・河川堤防の清掃、草刈、堤防植林(緑の回廊)の維持管理、河川に生息する希少生物の保護、地域交流・親水行事・水環境に関するフォーラム等の実施。	瀬戸市	-	-	-

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
木曾川・庄内川等流域	川・里海づくり	「合瀬川の清流を取りもどす会」の活動	小牧市、犬山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関:小牧市)	実施回数(回)		
		・魚が住みホタルが飛ぶ豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的として結成された「合瀬川の清流を取りもどす会」において、合瀬川流域の水質の保全と環境の美化に取り組む。 ・生物調査、採水調査、「水辺に親しむ活動」、「河川美化活動」を実施する。		生物調査…3回 水質調査…2回 水辺に親しむ活動…5回 河川美化活動…4回	生物調査…3回 水質調査…2回 水辺に親しむ活動…3回 河川美化活動…5回	生物調査…3回 水質調査…2回 水辺に親しむ活動…3回 河川美化活動…5回
		水環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	205人	186人	182人
		藤前干潟でのイベントの実施	名古屋市	延5,400人 (2日間 2会場)	延5,900人 (2日間 2会場)	延8,000人 (2日間 2会場)
天白川・山崎川等流域	森づくり	水源涵養林育成事業	愛知用水土地改良区	0.3ha	0.3ha	0.3ha
		分取造林の整備	日進市	87人	87人	64人
	郷づくり	-	-	-	-	
	まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市	-	-	-
		なごや東山の森づくり	名古屋市	3,500人	3,550人 (なごや東山の森づくりの会 H21年度活動報告より)	2,900人
		水質環境目標値市民モニタリング	名古屋市	205人	186人	182人
		湧き水モニター	名古屋市	70人	40人	40人
		まちづくりと一体化した河川整備	名古屋市	<山崎川ふるさとの川整備事業区間> 50m	<山崎川ふるさとの川整備事業区間> ー	<山崎川ふるさとの川整備事業区間> ー
		水生生物調査	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関:県水地盤環境課)	3ヶ所	2箇所	3箇所
	水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	205人	186人	182人	

【課題】
○生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。

【目標】
☆都市を潤し自然と人を育む川
☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道
○魚が行き交う自然が豊かな川
○「パドウォッチング」や水遊びが楽しめる水辺
○瀬や淵など変化がある流れ

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目			
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
天白川・山崎川等流域	川・里海づくり	天白・川辺の楽校	名古屋市	—	—	—	
		<p>・天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしさを次世代に伝承する。</p>		<p>①6月 地球環境保全功労団体賞(環境省)受賞 ②6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ放出作戦」を実施 ③8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にブース出展 ⑤11月「天白区&日進市 天白川DEつながり隊！ 中流編 ～グリーン作戦と秋の味覚～」を実施 ⑥12月「COOP天白写真&イラスト展」に参加・出品 ⑦2月 天白川右岸「水辺の緑の回廊事業 植樹林の枝切剪定」の実施 ⑧3月「日進市&天白区 天白川DEつながり隊！ 上流編 ～天白川の上流調査～」を実施 ⑨平成21年3月「天白川の上流調査～」について名古屋から委託・発行 ⑩通年 総合学習支援(天白小学校はじめ4小学校4年生合計530人に対して)</p>	<p>①6月 環境保全功労団体賞(環境省)受賞 ②6月 名古屋市天白プールにて「ヤゴ放出作戦」を実施 ③8月 天白小橋下流にて「川遊びと生き物観察」を実施 ④10月 名古屋市天白公園で開催した「天白区民まつり」にブース出展 ⑤11月「天白区&日進市 天白川DEつながり隊！ 中流編 ～グリーン作戦と秋の味覚～」を実施 ⑥12月「COOP天白写真&イラスト展」に参加・出品 ⑦平成21年2月 天白川右岸「水辺の緑の回廊事業 植樹林の枝切剪定」の実施 ⑧平成21年3月「日進市&天白区 天白川DEつながり隊！ 上流編 ～天白川の上流調査～」を実施 ⑨平成21年3月「天白川の上流調査～」について名古屋から委託・発行 ⑩通年 総合学習支援(天白小学校はじめ4小学校4年生合計530人に対して)</p>		
伊勢湾沿岸域(知多半島等)	森づくり	水源涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用宇土地改良区	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)	
	郷づくり	—	—	0.3ha	0.3ha	0.3ha	
	まちづくり	—	—	—	—	—	
	川・里海づくり	海岸環境整備事業 ・砂浜の保全・再生を図るため、突堤の整備や養浜を行う。	県知多建設事務所	縦横斜護岸延長(m)	—	—	—
		海浜の清掃活動 ・海浜の清掃を行う。	県水産課	植栽延長(m)	177m	33m	—
		水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	実施回数(回)	2回	—	—
			延べ参加人数(人)	211人	—	—	
			実施箇所数	—	—	—	
			のべ参加人数(人)	—	—	—	

【課題】
○単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うらおいを感じる事ができる川づくりが必要となっている。
○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。
○生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要となっている。

【目標】
☆水辺を散歩したい川
○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川
○利水・治水を始め多面